

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 1 年度)

施設の名称	東大阪市立市民多目的センター	指定期間	30 年度～	4 年度
		指定の方法	単体施設を指定管理	
施設所管課	社会教育部 社会教育課	連絡先	06-4307-4690	
設置目的	生涯学習の振興に寄与し、市民の文化的教養の向上に資するため。			
施設内容・業務内容等	貸室業務、自主事業			
指定管理者	特定非営利活動法人トイボックス	連絡先	050-3733-5544	
人員体制	正規職員	5 人	パート・アルバイト	4 人 その他 人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度
管理形態	その他	その他	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	—	—	284	316	314
指定管理委託料(千円)	—	—	34,342	31,483	31,870
利用状況指標	1 年間使用件数(件)	—	—	4,435	補足説明 平成30年5月1日～平成31年3月31日までの実績
	2 年間稼働率(%)	—	—	43	補足説明 平成30年5月1日～平成31年3月31日までの実績
	3 年間登録団体数(団体)	—	—	484	補足説明 平成30年5月1日～平成31年3月31日までの実績

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点		施設担当課のモニタリング	
		個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A	行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	事業については、協定書や仕様書のとおり実施しており、自主事業である「宿題カフェ」に関しては、他自治体からの問合せがあるほど注目を集める事業展開を行っていた点が評価できる。NPO法人でありながら、限られた予算の中で創意工夫を凝らし、地域の学習拠点としての役割を果たすとともに、防災及び危機事象に対する意識も職員間で共有していることで、市民の安全確保が図られている。今後も、多くの人に利用され愛される施設となるよう努めていただきたい。
B	管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	S	オープンして1年ということもあり、施設や設備の問題については特はない。また、職員自ら会議室等の部屋を清掃することやラウンジのレイアウトを工夫したり、利用者が快適に過ごしやすいような環境づくりに努めている。防犯対策についても、整備されたマニュアルのとおり予算等の資源を適切に管理している。
C	サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	利用者が来館された際に、窓口へ声を掛けやすいような環境に努めていることや、初めて利用される方への丁寧な対応も心掛けている。改善事項としては、一部、手話通訳が可能なスタッフの配置や外国人市民の利用など、幅広い利用者を想定したサービスの展開も検討いただきたい。
D	市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	平成30年度にオープンした新しい施設ということもあり、様々な市民の声があるものの、その場に応じた柔軟な対応を行っていたことで、利用者アンケートでも概ね満足いただいている。改善事項としては、一部ホームページの多言語化対応やアクセス数を把握することで、市民視点に立ったサービス向上に努めていただきたい。
E	効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	多くの市民が利用しやすいように季節ごとに大きなイベントを開催し、提案書や施設目的に沿った自主事業を実施している。また、そのイベントの中で多くの一般市民が参加できるよう地域活性化へ寄与する取組となっている。改善事項としては、稼働率が向上しているものの目標値に達していないことが挙げられるため、施設の利用につながるような工夫を順次行っていく、少しずつ稼働率が向上していくよう引き続き努めていただきたい。
F	法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	個人情報の適切な保護を促進するためJAPHICマークを取得し、法令や各種規則等の理解に対する積極的な姿勢があり、職員間での共有も十分に図られている。今後も引き続き、情報セキュリティに関する体制をより一層確立するとともに、利用者を尊重したプライバシーの保護を配慮することに努めていただきたい。
課題への対応 今後の取組		最終評価 (任意設定) A	今後、入管法の改正に伴い、外国人の利用者の増加が見込まれるため、外国人市民の利用を視野に入れたサービスの展開や、障害のある方への配慮など、利用者の視点に立った対応を検討していただきたい。また、目標稼働率の達成に向けより多くの方に利用していただけるよう多様な媒体を通じて広報に努めていただくとともに、イベントを企画するなど、更なる創意工夫に努めていただきたい。